

2015年4月10日

## 鉄道業界初！ヘッドマウントディスプレイを用いた運転シミュレータを開発 ～「体感型教材」により、運転士向け教育がより充実します～

東急テクノシステム株式会社

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）の連結子会社である東急テクノシステム株式会社（以下、東急テクノシステム）は、現実の走行環境に極めて近い研修の実現を目的に、鉄道業界では初となるヘッドマウントディスプレイを用いた運転シミュレータ（以下、本シミュレータ）を開発しました。本シミュレータの開発にあたり、東急電鉄は東横線の映像提供などで協力しています。

本シミュレータは、体験者がヘッドマウントディスプレイを装着すると、現実の走行環境をCGで再現した360度の仮想空間内で、研修が行える「体感型教材」です。本シミュレータを使用することで、本番さながらの臨場感と緊張感が味わえるほか、従来の大型シミュレータに比べて半分以下のスペースで設置でき、導入コストも約30%削減できます。

なお、一般の方にも5月2日（土）～4日（月・祝）の3日間、田園都市線たまプラーザ駅直結の商業施設「たまプラーザ テラス」で開催される鉄道イベント「たまプラーザ トレインパーク」において、本シミュレータを体験していただけます。

東急テクノシステムは、シミュレータをはじめとした電子教材製作のほか、車両、バスの改造工事、電気設備工事など、鉄道を中心とした交通インフラを総合的にサポートする事業を展開しており、今年で創立75周年となります。今後は運転士、車掌、駅係員、保線作業員、電気設備作業員など、鉄道・軌道事業者向けのみならず、交通誘導員向けの教育教材など、幅広く「体感型教材」を開発していく予定です。

「ヘッドマウントディスプレイを用いた運転シミュレータ」の詳細は別紙のとおりです。

以上



ヘッドマウントディスプレイを用いたシミュレータのイメージ

【別紙】

「ヘッドマウントディスプレイを用いた運転シミュレータ」の詳細

1. スペック比較

	ヘッドマウントディスプレイを用いた 運転シミュレータ	既存の運転シミュレータ
イメージ		
必要な スペース	(幅×奥行×高さ 単位:m) ・1×2×2	(幅×奥行×高さ 単位:m) 中型:2×3×3 大型:10×10×3
価格	・4,000万～1億4,000万円 (仕様により価格が変動します)	・5,000万～2億円 (仕様により価格が変動します)
主な 訓練項目	・運転訓練 ・360度CGを用いた事故・故障処置 ・出庫点検	・運転訓練 ・CGとモックアップを用いた事故・故障処置 ・出庫点検
動作環境	・制御兼映像PC1台	・制御用PC1台 ・映像用PC スクリーン1つにつき1台

2. 「たまプラーザ トレインパーク」での体験について

日 時:5月2日(土)～4日(月・祝) 10時～12時

場 所:田園都市線たまプラーザ駅直結 たまプラーザ テラス  
ノースプラザ(東急百貨店たまプラーザ店)3階催物場

体験区間:東横線 多摩川駅～横浜駅間

※混雑が予想されるため、時間帯ごとに整理券を配布します。

※1回の体験時間を最長5分とし、18歳以上の方に限定させていただきます。

以 上